

巻末資料

- 巻末－1 行田市地域公共交通会議
- 巻末－2 公共交通に関する市民アンケート実施概要
- 巻末－3 デマンドタクシー登録者アンケート実施概要
- 巻末－4 路線バス利用者アンケート実施概要
- 巻末－5 市内循環バス利用者アンケート実施概要
- 巻末－6 地域公共交通に関する意見交換会概要
- 巻末－7 市民説明会実施概要
- 巻末－8 パブリックコメント実施概要
- 巻末－9 用語集

巻末－1 行田市地域公共交通会議

●行田市地域公共交通会議設置要綱

平成 22 年 7 月 21 日告示第 177 号
改正

平成 24 年 3 月 30 日告示第 82 号
平成 27 年 11 月 19 日告示第 321 号
令和 3 年 3 月 31 日告示第 102 号
令和 3 年 12 月 1 日告示第 411 号

(設置)

第 1 条 道路運送法（昭和 26 年法律第 183 号）第 9 条第 4 項の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するとともに、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年法律第 59 号）第 6 条第 1 項の規定に基づき、同法第 5 条に規定する地域公共交通計画の策定及び実施に関し必要な事項を協議するため、行田市地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）を設置する。

(協議事項)

第 2 条 交通会議は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客輸送の態様及び運賃・料金等に関する事項
- (2) 市町村運営有償輸送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (3) 交通会議の運営方法その他交通会議が必要と認める事項
- (4) 地域公共交通計画の策定及び実施並びに実施に係る連絡調整に関する事項

(交通会議の構成員)

第 3 条 交通会議の委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 行田市長又はその指名する者
- (2) 一般乗合旅客自動車運送事業者が指名する者
- (3) 一般貸切（乗用）旅客自動車運送事業者が指名する者
- (4) 一般社団法人埼玉県バス協会の代表者又はその指名する者
- (5) 一般社団法人埼玉県乗用自動車協会の代表者又はその指名する者
- (6) 住民又は利用者の代表
- (7) 国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局長又はその指名する者
- (8) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体の代表者又はその指名する者
- (9) 行田警察署長又はその指名する者
- (10) 埼玉県企画財政部交通政策課長又はその指名する者
- (11) 道路管理者
- (12) 鉄道事業者が指名する者
- (13) その他交通会議が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(役員及び職務)

第5条 交通会議に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 1人
- (3) 監事 2人

2 会長は、第3条第1号に掲げる者をもって充てる。

3 会長は、交通会議を代表し、会務を総理する。

4 副会長及び監事は、会長が委員の中からこれを指名する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

6 監事は、交通会議の会計を監査する。

7 会長、副会長及び監事は、相互にその職を兼ねることができない。

(会議)

第6条 交通会議の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ、開くことができない。

3 委員は、会議への出席及び議決権の行使を、代理人に委任することができる。

4 会議の議決の方法は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところとする。

5 会議は、原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開とすることができる。

6 議長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、意見等を聴くことができる。

(部会)

第7条 交通会議は、必要に応じ部会を置くことができる。

2 部会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(協議結果の取扱い)

第8条 交通会議において協議が調った事項について、関係者はその結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(経費の負担)

第9条 交通会議の運営に要する経費は、負担金、補助金その他の収入をもって充てる。

(財務に関する事項)

第10条 交通会議の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(交通会議が解散した場合の措置)

第11条 交通会議が解散した場合は、交通会議の収支は解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。この場合において、債務を弁済してなお残余財産のあるときは、これを行田市に帰属させる。

(事務局)

第12条 交通会議の庶務は、市民生活部交通対策課において処理する。

(その他)

第 13 条 この要綱に定めるもののほか、交通会議の運営に関して必要な事項は、会長が交通会議に諮り定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、公布の日から施行する。

(行田市市内循環バス新運行路線等原案策定検討委員会設置要綱の廃止)

2 行田市市内循環バス新運行路線等原案策定検討委員会設置要綱（平成 20 年告示第 128 号）は、廃止する。

附 則（平成 24 年 3 月 30 日告示第 82 号）

この告示は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 27 年 11 月 19 日告示第 321 号）

この告示は、公布の日から施行する。

附 則（令和 3 年 3 月 31 日告示第 102 号）

この告示は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 3 年 12 月 1 日告示第 411 号）

この告示は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

●行田市地域公共交通会議 委員名簿

区分	所属・団体名	氏名（※）	備考
第1号委員	行田市副市長	◎ 横田 英利 ◎ 石川 隆美	令和5年8月22日から 令和5年11月24日まで
	行田市市民生活部長	◎ 鴨田 和彦	令和5年4月1日から 令和5年6月30日まで
第2号委員	朝日自動車株式会社	田沼 健一	
〃	株式会社協同バス	鈴木 貴大	
〃	国際十王交通株式会社	梁瀬 高志 山岸 晃	令和5年8月22日から 令和5年3月31日まで
第3号委員	株式会社大堰観光バス	長島 豊	
〃	昭和タクシー株式会社	明野 真久 栗原 喜好	令和5年8月22日から 令和5年3月31日まで
第4号委員	一般社団法人埼玉県バス協会	関根 肇	
第5号委員	一般社団法人埼玉県乗用自動車協会	藤田 貢	
第6号委員	行田市自治会連合会	高鳥 和子	
〃	浮城シニアクラブ連合会	小暮 福三	
〃	行田地区障害者福祉団体連絡協議会	関口 正彦	
第7号委員	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局	坂井 貴夫 細野 桂一	令和5年8月22日から 令和5年3月31日まで
第8号委員	朝日自動車労働組合	飯塚 光弘	
第9号委員	行田警察署	中山 昌典	
第10号委員	埼玉県企画財政部交通政策課	村上 晶彦 山崎 佑	令和5年8月22日から 令和5年3月31日まで
第11号委員	埼玉県行田県土整備事務所	鎗木 幹矢 中島 紀行	令和5年8月22日から 令和5年3月31日まで
〃	行田市建設部長	青山 義徳 長谷見 悟	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで
第12号委員	東日本旅客鉄道株式会社高崎支社	近藤 隆俊 坂口 真一	令和5年8月22日から 令和5年3月31日まで
〃	秩父鉄道株式会社	荒船 慎一 関口 恒男	令和5年8月22日から 令和5年8月21日まで
第13号委員	ものづくり大学	田尻 要	
第13号委員	行田市総合政策部長	岡登 圭太 ○ 渡邊 直毅	令和5年8月22日から 令和5年3月31日まで
〃	行田市市民生活部長	○ 森原 秀敏 吉田 悦生	令和5年8月22日から 令和5年3月31日まで
〃	行田市環境経済部長	江森 裕一	
〃	行田市健康福祉部長	上村 浩代 松浦由加子	令和5年8月22日から 令和5年3月31日まで
〃	行田市都市整備部長	高橋 栄一 青山 義徳	令和5年8月22日から 令和5年3月31日まで

※◎は会長、○は副会長

●行田市地域公共交通会議での検討経緯

回		開催日		議題
令和4年度	第1回	令和4年	5月26日(木)	・行田市地域公共交通計画の策定及び同計画策定業務委託のプロポーザルについて
	第2回	令和5年	1月11日(水)	・行田市公共交通に関するアンケート調査結果について ・地域公共交通に関する意見交換会の開催について
	第3回	〃	3月20日(月)	・行田市公共交通に関するアンケート調査結果の詳細について ・地域公共交通に関する意見交換会の開催結果について ・行田市地域公共交通計画の策定に係る課題の整理について
令和5年度	第2回	〃	8月22日(火)	・行田市地域公共交通計画の骨子(案)について
	第3回	〃	9月28日(木)	・行田市地域公共交通計画骨子(修正案)について ・行田市地域公共交通計画(案)(第1章～第3章)について
	第4回	〃	10月26日(木)	・行田市地域公共交通計画(修正案)(第1章～第3章)について ・行田市地域公共交通計画(案)(第4章～第6章)について
	第5回	〃	11月8日(水)	・行田市地域公共交通計画(素案)について
	第6回	令和6年	2月2日(金)	・行田市地域公共交通計画(案)について

巻末－2 公共交通に関する市民アンケート実施概要

●実施期間

令和4年10月28日（発送）～11月7日（ポスト投函締切）

●対象者と調査方法

令和4年9月時点において行田市在住の16歳以上の市民2,000人

※対象者は無作為抽出により選定し、郵送により調査票を発送、回収。

※SNSや市内で開催されたイベントでWEB回答への協力を案内し、その回答者を含む。

●回収票数

856票

※うち無作為抽出者が808票（回収率40.4%）、WEB回答が48票

市民アンケートへのご協力をお願い

近年の人口減少・少子高齢化の本格化、コロナ禍による移動形態の変化、公共交通を維持するための公的負担の増加などにより、公共交通を取り巻く環境は厳しくなっています。同時に、高齢者の運転免許返納の増加を見据え、将来的に持続可能な公共交通の確保・維持が必要となってきています。

このような背景の下、令和2年11月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が施行され、原則として全ての地方公共団体において、「公共交通のマスタープラン」とよばれる「地域公共交通計画」を策定することとなりました。本計画は、「地域」として望ましい地域旅客輸送サービスの姿を明らかにし、その実現に向けた具体的施策と目標を定めるもので、令和5年度に行田市地域公共交通計画Ⅰの策定を目指し、検討を進めています。当アンケート調査は、市民の皆様の日頃の移動の実態、要望等を把握し、計画に反映することを目的として実施するものです。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年10月 行田市地域公共交通会議

<調査対象・個人情報取り扱いについて>

・当アンケート調査は、行田市内にお住まいの16歳以上(令和4年9月時点)の方を対象に、住民基本台帳から無作為に選ばせていただいた2,000人に送付させていただきます。

・調査票は無記名でご回答いただくため、個人が特定されるものではありません。

<アンケートの回答・記入について>

・回答は、おてはまる番号を○で囲んでください。

・その他にあてはまる場合は、()内に具体的な内容を記入してください。

・質問により回答していただく方が限られるものがありますので、ごわり書きをお読みください。

・記入が困難な方は、ご家族の方が代筆して構いません。

・代筆者ではなく、アンケート票の宛名の方にご回答ください。

・本調査はWebでも回答できます。2ページのアクセス先をご確認ください。

(回答は、この調査票とWeb、どちらか一方でお願致します。)

<アンケート用紙の回収について>

・同封の返信用封筒にアンケート用紙を入れてご返送ください。(切手不要)

・返送(ポスト投函)期日: 令和4年11月7日(月)

<アンケートに関する問い合わせ先>

行田市地域公共交通会議(事務局: 行田市 市民生活部 交通対策課)

電話: 048-556-1111(内線284)

行田市 公共交通に関するアンケート調査 調査票



本調査はWebでも回答できます。下のURLもしくは右のQRコードより回答フォームにアクセスいただき、ご回答下さい。なお、発生する通信料は各自の負担となります。ご了承下さい。
(回答は、この調査票とWeb、どちらか一方でお願致します。)
[URL] <https://forms.gle/FPU9w44YSIH4UeYX8>

■ ご自身について

【例】 ご自身について、差し支えない範囲で教えてください。

性別	1. 男性 2. 女性 3. その他/回答しない	居住地 記入例: 行田市[長野1丁目]	※下記の[]内に町丁名を記載してください 行田市[]
年齢 (該当するものを□に○)	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳代以上		
最寄駅・最寄バス停	1. 最寄駅: _____ 駅 2. 最寄バス停: _____ バス停		
世帯構成 (同居する人を□に○)	1. 一人暮らし 2. 配偶者 3. 親 4. 子ども 5. 孫 6. 兄弟 7. 姉妹 8. その他()		
職業 (該当するものを□に○)	1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業 3. 学生 4. アルバイト・パート 5. 専業主婦(夫) 6. 無職 7. その他()		
運転免許証 取得しているものを□に○)	1. 自動車(大型、中型、準中型、普通など四輪車) 2. 自動二輪車(大型・普通) 3. 原付		
自動車の所持 (該当するものを□に○)	1. 自分で使える自動車がある 2. 家族共有の自動車がある 3. 自動車を持っていない		
原付・バイクの所持 (該当するものを□に○)	1. 自分で使える原付・バイクがある 2. 家族共有の原付・バイクがある 3. 原付・バイクを持っていない		
自動車の所持 (該当するものを□に○)	1. 自分で使える自動車がある 2. 家族共有の自動車がある 3. 自動車を持っていない		
世帯で自動車を 運転する人の人数 (総計記入)	人	世帯での 所有台数 (総計記入)	自動車 原付・バイク 自転車 台 台 台

■ 日常生活における外出について

問2 日常的な外出において最も多い外出目的とその目的地(行田市外でも構いません)。移動手段を教えてください。該当する番号を1つだけ選び、○をつけて、内容をお書きください。

記入例 ④公共施設での用事 (目的地 行田市役所 移動手段 自家田車)

1. 通勤・通学 (目的地)	移動手段
2. 通院 (目的地)	移動手段
3. 福祉施設 (目的地)	移動手段
4. 公共施設での用事 (目的地)	移動手段
5. 買物 (目的地)	移動手段
6. 食事・レジャー (目的地)	移動手段
7. 家族・親戚・友人宅への訪問 (目的地)	移動手段
8. その他 (目的)	移動手段
9. ほとんど外出しないため該当なし	⇒問4へ

上記 問2 で1～8を選択した方は 問3 を回答し 問4 へ進んでください。

19. ほとんど外出しないため該当なしを選択した方は 問4 へ進んでください。

問3 上記 問2 で回答いただいた場所へ外出する主な時間帯を教えてください。該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 5～6時台	2. 7～8時台	3. 9～11時台
4. 12～14時台	5. 15～16時台	6. 17時以降
7. 決まっていない(日によって異なる)		

問4 下記のうち、行田市内外問わず、どの施設に行くのが便利だと書らしやすいと感じますか。該当する番号を3つまで選んで、○をつけてください。

1. 商業施設 (大型総合店、スーパー、ホームセンター等)
2. 商業施設 (コンビニエンスストア、ドラッグストア等)
3. 商業施設 (飲食店、衣料品店等)
4. 金融施設 (銀行、信用金庫、郵便局等)
5. 行政施設 (市役所、支所、窓口機能等)
6. 文化教育施設 (図書館、文化会館、美術館等)
7. 医療施設 (病院、診療所、薬局等)
8. 福祉施設 (障がい者福祉施設等)
9. 高齢者向け施設 (介護施設等)
10. 子育て支援施設 (子育て支援センター、こども園、保育所等)
11. 学校施設 (高等学校、大学、専門学校等)
12. 健康推進等施設 (スポーツ施設、体育館等)
13. ほとんど外出しないため該当なし
14. その他 ()

■ 鉄道駅の利用について

問5 J R行田駅の利用について教えてください。該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. ほぼ毎日利用する ⇒問7へ	2. 週3～5日利用する ⇒問7へ
3. 週1～2日利用する ⇒問7へ	4. 月数回利用する ⇒問7へ
5. 月1日程度利用する ⇒問7へ	6. ほとんど利用しない

上記 問5 で6. ほとんど利用しないを選択した方は 問6 を回答し 問7 へ進んでください。

1～5を選択した方は 問7 へ進んでください。

問6 J R行田駅を利用しない理由として、あなたの考えに最も近いものを教えてください。該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 自宅から遠い	2. 日頃から公共交通を利用しない
3. J R行田駅までの移動手段がない	4. J R行田駅周辺の駐車・駐輪が不便
5. J R行田駅の運行ダイヤ(時刻表)が自身の外出予定に合わない	
6. 鉄道で外出する際は他の駅を利用している。利用駅名()	
7. その他 ()	

問7 秩父鉄道の駅(武州栗木駅、東行田駅、行田市駅、持田駅、ソシオ流通センター駅)の利用について教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. ほぼ毎日利用する ⇒問9へ	2. 週3～5日利用する ⇒問9へ
3. 週1～2日利用する ⇒問9へ	4. 月数回利用する ⇒問9へ
5. 月1日程度利用する ⇒問9へ	
★1～5を選択した方は駅名を教えてください。利用している駅名()	
6. ほとんど利用しない	

上記 問7 で6. ほとんど利用しないを選択した方は 問8 を回答し 問9 へ進んでください。

1～5を選択した方は 問9 へ進んでください。

問8 秩父鉄道の駅を利用しない理由として、あなたの考えに最も近いものを教えてください。該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 自宅から遠い	2. 日頃から公共交通を利用しない
3. 秩父鉄道の駅までの移動手段がない。行きたい駅名()	
4. 秩父鉄道の駅周辺の駐車・駐輪が不便。不便な駅名()	
5. 秩父鉄道の運行ダイヤ(時刻表)が自身の外出予定に合わない	
6. 鉄道で外出する際は秩父鉄道以外の駅を利用している。利用駅名()	
7. その他 ()	

■ 公共交通の利用について

問9 公共交通(鉄道、民間の路線バス、市内循環バス、デマンドタクシー)を利用した日常的な外出頻度を教えてください。
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- 1. 週5日以上 ⇒ 問11ハ
- 2. 週3～4日 ⇒ 問11ハ
- 3. 週1～2日 ⇒ 問11ハ
- 4. 月2～3日 ⇒ 問11ハ
- 5. 月1日程度 ⇒ 問11ハ
- 6. ほとんど利用しない

上記 問9 で6.ほとんど利用しないを選択した方は 問10 を回答し 問11 ハを選んでください。
1～5を選択した方は 問11 ハを選んでください。

問10 公共交通を利用しない理由として、あなたの考えに最も近いものを教えてください。
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- 1. 目的地への路線がないため
- 2. 便数が少ない、時間がかかるなど利用しにくいいため
- 3. 行きたい場所は、ほとんど徒歩や自転車移動できるため
- 4. 自家用車等での移動が当たり前で、最初から公共交通の利用が選択肢にないため
- 5. その他 ()

問11 公共交通を利用して外出する際、利用する主な交通手段を教えてください。
該当する番号全てに○をつけてください。

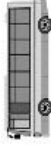
- 1. 鉄道
- 2. 民間の路線バス
- 3. 市内循環バス
- 4. デマンドタクシー
- 5. ほとんど利用しないため該当なし
- 6. その他 ()

問12 公共交通を利用する際に重視することを教えてください。
下記の選択肢から優先順位の高い順に3つまで数字をご記入ください。

- 1. 運賃が安いこと
 - 2. 便数が多いこと
 - 3. 乗り継ぎ回数が少ないこと
 - 4. 目的地まで早く着けること
 - 5. 到着時刻の確実性が高いこと
 - 6. 自宅近くから利用できること
 - 7. できるだけ目的地まで歩かないで済むこと
- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 番目に重視すること | 2 番目に重視すること | 3 番目に重視すること |
| | | |

■ 民間の路線バスの利用について

行田市内を運行する民間の路線バスは、朝日自動車株式会社が運行する北上駅寄りの北上線、鴻巣駅寄りの真石板線、国際十王交通株式会社が運行する熊谷駅寄りの大塚線と高和田線を指します。下記の質問はこれらのバスの利用についてお聞きするものです。



問13 日頃の行田市内の民間の路線バスの利用について教えてください。

問13-1 行田市内の民間の路線バスの利用頻度を教えてください。
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- 1. 全く利用しない ⇒ 問13-4ハ
- 2. 年に数回程度
- 3. 月に数回程度
- 4. 週に数回程度
- 5. ほぼ毎日
- 6. 雨天など悪天候時のみ利用
- 7. その他 ()

上記 問13-1 で2～7を選択した方は 問13-2 を回答してください。
1.全く利用しないを選択した方は 問13-4 ハを選んでください。

問13-2 行田市内の民間の路線バスの運行内容について教えてください。
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- 1. 満足 ⇒ 問13-4ハ
- 2. どちらかという満足 ⇒ 問13-4ハ
- 3. どちらとも言えない ⇒ 問13-4ハ
- 4. どちらかという不満
- 5. 不満

上記 問13-2 で4.どちらかという不満が5.不満を選択した方は 問13-3 を回答し 問13-4 ハを選んでください。

1～3を選択した方は 問13-4 ハを選んでください。

問13-3 行田市内の民間の路線バスの運行に不満を感じる理由として、あなたの考えに近いものを教えてください。

該当する番号全てに○をつけてください。

- 1. 行きたい場所や地域まで運行していない
- 2. バス停までの距離が遠い
- 3. 利用したい時間帯に運行していない
- 4. 運行本数が少ない
- 5. 運賃が高い
- 6. その他 ()

問13-4 今後の行田市内の民間の路線バスの利用意向について、あなたの考えに近いものを教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- 1. 利用したい
- 2. 利用するつもりはない
- 3. その他 ()

■ 市内循環バスの利用について

高齢者や運転免許証を持たない交通弱者の移動手段の確保および市内施設や観光施設の利用者の利便性向上を図るため、全6コースで市内循環バスを運行しています。

問14 日頃の市内循環バスの利用について教えてください。

問14-1 市内循環バスの利用頻度を教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 全く利用しない ⇒問14-1ハ | 4. 週に数回程度 |
| 2. 年に数回程度 | 3. 月に数回程度 |
| 5. ほぼ毎日 | 6. 雨天など悪天候時のみ利用 |
| 7. その他 () | |

上記 問14-1 で2～7を選択した方は 問14-2 を回答してください。

「1.全く利用しない」を選択した方は 問14-4 ハを選んでください。

問14-2 市内循環バスの運行内容について教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 満足 ⇒問14-4ハ | 2. どちらかという満足 ⇒問14-4ハ |
| 3. どちらとも言えない ⇒問14-4ハ | 4. どちらかという不満 |
| | 5. 不満 |

上記 問14-2 で「4.どちらかという不満」が「5.不満」を選択した方は 問14-3 を回答し 問14-4 ハを選んでください。

1～3を選択した方は 問14-4 ハを選んでください。

問14-3 市内循環バスの運行に不満を感じる理由として、あなたの考えに近いものを教えてください。

該当する番号全てに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 行きたい場所や地域まで運行していない | 2. バス停までの距離が遠い |
| 3. 利用したい時間帯に運行していない | 4. 運行本数が少ない |
| 6. その他 () | 5. 運賃が高い |

問14-4 今後の市内循環バスの利用意向について、あなたの考えに近いものを教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用するつもりはない |
| 3. その他 () | |

問14-5 市内循環バスの運行には、年間1億円以上(利用者1人あたり570円:令和3年度)を運行が財政負担しています。現在の運賃は、コースにより100円または150円ですが、運行維持を念頭にあなたか考える運賃の上限額を教えてください。

円

■ コロナ禍以降の外出状況について

問15 令和2年(2020年)の新型コロナウイルス感染拡大後の外出の頻度の変化について教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 外出する機会がかなり減った | 2. 外出する機会が少し減った |
| 3. 以前とほとんど変わらない | 4. 外出する機会が少し増えた |
| 5. 外出する機会がかなり増えた | |

問16 令和2年(2020年)の新型コロナウイルス感染拡大後の公共交通の利用頻度の変化について教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 利用する機会がかなり減った | 2. 利用する機会が少し減った |
| 3. 以前とほとんど変わらない ⇒問18ハ | 4. 利用する機会が少し増えた ⇒問18ハ |
| 5. 利用する機会が増えた ⇒問18ハ | |
| 6. 以前からほとんど利用していない ⇒問18ハ | |

上記 問16 で「1.利用する機会がかなり減った」が「2.利用する機会が少し減った」を選択した方は 問17 を回答し 問18 ハを選んでください。

3～6を選択した方は 問18 ハを選んでください。

問17 公共交通を利用する機会が減った理由として、あなたの考えに近いものを教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1. 外出自粛を心掛けているため |
| 2. できるだけ公共交通以外の移動手段を利用しているため |
| 3. 感染対策が気がかりなため |
| 4. 家族、知人、職場等からの指示があったため |
| 5. その他 () |

問18 今後、引き続き感染対策が必要となる状況下での公共交通の利用について、あなたの考えに近いものを教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 自家用車等があるため、元々利用しておらず、今後も利用意向はない |
| 2. 感染対策の有無に関わらず利用したい |
| 3. 感染対策が十分であれば利用したい |
| 4. 感染対策の有無に関わらず感染拡大が終息しない限り利用しない |
| 5. 人や機械との接触が少ない新たな公共交通があれば利用したい |
| 6. その他 () |

■ 運転免許証の自主返納とデマンドタクシーについて

問19 運転免許証の所有状況と返納について、あなたの考えに最も近いものを教えてください。
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 運転免許証を所有しており、当面は免許返納の予定はない ⇒ 問20を回答し 問21へ
2. 運転免許証を所有していたが、既に免許返納を行った ⇒ 問21を回答し 問21へ
3. 運転免許証を所有しているが、免許返納を考えている ⇒ 問21を回答し 問22へ
4. 運転免許証を所有しているが、免許返納をどうするか決めていない ⇒ 問22へ
5. 運転免許証を所有していない ⇒ 問22へ

問20 問19 で「1. 運転免許証を所有しており、当面は免許返納の予定はない」を選択した方のみ回答してください。

運転免許証を自主返納しない理由として、あなたの考えに最も近いものを教えてください。
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。(続いて 問23 に進んでください)

1. 運転することに関心がないため
2. 返納した場合、外出時の移動手段がなくなるため
3. 家族や知人の送迎に頼りたくないため
4. 公共交通が充実していないと感じるため
5. 自分で運転することが好きだから
6. その他 ()

問21 問19 で「2. 運転免許証を所有している」を選択した方のみ回答してください。
運転免許証自主返納後に最も多く利用する(利用しない)移動手段を教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。(続いて 問23 に進んでください)

1. 徒歩または自転車
2. 家族や知人の送迎
3. 医療機関などの送迎
4. 鉄道
5. 民間の路線バス
6. 市内循環バス
7. デマンドタクシー
8. タクシー (デマンドタクシー以外)
9. その他 ()

コラム

〔運転免許証自主返納を支援する行田市の取組〕
運転免許証を自主返納した方に、タクシーで利用できる500円券(デマンドタクシー利用登録者はデマンドタクシーでも利用可)を1回限り20枚交付しています。
＜問い合わせ先＞
行田市 市民生活部 交通対策課 電話: 048-556-1111(内線284)

問22

行田市では、高齢者及び障がい者の移動手段の確保のため、75歳以上の方または障害者手帳をお持ちの方を対象に「行田市デマンドタクシー」を運行しています。
利用者の要望に応じて低料金で運行を行う公共交通であるため、運転免許証自主返納後の移動手段としても活用できます。
以下の「行田市デマンドタクシーの概要」も参考とし、「行田市デマンドタクシー」について、あなたの考えや利用状況に最も近い番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

〔行田市デマンドタクシーの概要〕
＜デマンドタクシーとは？＞
利用者の希望時間・乗降場所の要望(デマンド)に応じて、低料金で運行する公共交通サービスです。バスのように乗り降りできる場所が決められていますが、時刻表はありません。また、タクシーのように電話で呼べば自宅まで迎えに来ますが、途中下車や寄り道はできません。
このように、バスとタクシーの中間的な交通手段となります。
なお、車両は通常のタクシー車両を使用し、料金は通常のタクシーと同様、車両1台の金額です。
＜利用できる方＞
行田市民で75歳以上の高齢者または「障害者手帳をお持ちの方」(事前に利用者登録が必要)
＜運行日＞
毎日(ただし、年末年始[12/29～1/3]を除く)
＜利用時間＞
午前8時30分～午後5時(利用日の3日前から予約可能)
＜運行区域＞
行田市内および秩父鉄道ソシオ流通センター駅前
＜運行パターン＞
①利用者自室前→指定乗降場所 ②指定乗降場所→利用者自室前
③指定乗降場所→指定乗降場所 のいずれか
＜利用料金＞
タクシーメーター料金に別して4段階
タクシーメーター料金 利用料金(利用者登録)

2,000円未満	500円
2,000円以上 3,000円未満	1,000円
3,000円以上 4,000円未満	1,500円
4,000円以上	2,000円

1. 運行していることを知っており、将来的に利用したい
2. 運行していることを知っていたが、将来的に利用するつもりはない
3. 運行していることを知らなかったが、将来的に利用したい
4. 運行していることを知らなかったが、将来的に利用するつもりはない
5. 現在利用登録で、積極的に利用している
6. 現在利用登録で、たまに利用している
7. 現在利用登録だが、ほとんど利用していない
8. その他 []

■ 行田市の公共交通のあり方について

問23 将来の移動に対する不安について、あなたの考えに近いものを教えてください。
該当する番号全てに○をつけてください。

1. 利便性の高い公共交通の存続
2. 公共交通施設のバリアフリーに関する不安
3. 高齢を迎えた際の外出頻度の減少
4. 移動にかかると費用負担などの経済的な不安
5. その他 ()

問24 行田市が目指すべき交通サービスのあり方について、あなたの考えに近いものを教えてください。
該当する番号全てに○をつけてください。

1. 行田市の中心へ移動しやすい公共交通
2. 鉄道やバスで周辺の市町村へ移動しやすい公共交通
3. 市内外の主要な施設に移動しやすい公共交通
4. 自家用車が安全かつ快適に走行できる道路の整備
5. 自転車道の整備など自転車が安全かつ快適に走行できるまちづくり
6. 歩道の整備など、徒歩で移動しやすいまちづくり
7. 観光客や来訪者が移動しやすいまちづくり
8. 自宅や目的地（外出先）の歩ける範囲に駅やバス停があるまちづくり
9. スクールバスや福祉輸送車など様々な輸送方法を活用した公共交通
10. バリアフリーとなっており、誰もが利用しやすい公共交通
11. 密着を避ける等、感染対策を視野に入れた新しい生活様式に対応した公共交通
12. 公共交通に関する情報発信が盛んで、かつ情報を得やすい環境整備
13. その他

コラム
【公共交通に関する行田市の取組について】
公共交通に関する取組について、行田市のホームページにて詳しい情報を発信しています。
以下のQRコードより確認できます。


公共交通トップページ


市内循環バス


デマンドタクシー

問25

公共交通を確保するため、行田市では運行に対する財政的支援を行っています。
公共交通に対する財政負担の考え方について、令和元～3年度の市拠出金額を参考に、
あなたの考えに最も近いものを教えてください。
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

公共交通に対する市拠出金額の近年の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
民間の路線バス運行に対する市拠出金	1,750万円	2,249万円	3,160万円
市内循環バス運行に対する市拠出金	10,238万円	11,084万円	10,472万円
デマンドタクシー運行に対する市拠出金	2,316万円	1,954万円	2,636万円

1. 財政負担が増加しても、さらなる公共交通の充実を図るべき
2. 現状の財政負担を維持し、運行内容を継続するべき
3. 運賃・利用料の引き上げにより財政負担の抑制に取り組みとともに、運行時間帯やルート、利用方法を改善して利便性向上を図るべき
4. 財政負担を抑制するため、利用者の少ない路線などの運行機軸縮小や制度の整理統合はやむを得ない
5. その他

■ 自由意見

行田市の公共交通について自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございます。
期限内(11月7日まで)にポスト投函をお願いします。

巻末－3 デマンドタクシー登録者アンケート実施概要

●実施期間

令和4年10月28日（発送）～11月7日（ポスト投函締切）

●対象者と調査方法

令和4年9月時点において行田市在住のデマンドタクシー利用登録者800人

※対象者は利用登録者の中から無作為抽出により選定し、郵送により調査票を発送、回収。

●回収票数

521票（回収率65.1%）



行田市地域公共交通計画策定に向けた
デマンドタクシー利用者アンケートへのご協力をお願い



近年の人口減少・少子高齢化の本格化、コロナ禍による移動形態の変化、公共交通を維持するための公的負担の増加などにより、公共交通を取り巻く環境は厳しくなっています。同時に、高齢者の運転免許返納の増加を見据え、将来的に持続可能な公共交通の確保・維持が必要となってきています。

このような背景の下、令和 2 年 11 月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が施行され、原則として全ての地方公共団体において、「公共交通のマスタープラン」と言える「地域公共交通計画」を策定することとなりました。本計画は、「地域にとって望ましい地域旅客輸送サービスの姿」を明らかにし、その実現に向けた具体的施策と目標を定めるもので、令和 5 年度に「行田市地域公共交通計画」の策定を目指し、検討を進めています。当調査は、デマンドタクシーを利用している皆様の日頃の移動、要望等を把握し、計画に反映することを目的として実施するものです。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 4 年 10 月 行田市地域公共交通会議

<調査対象・個人情報の取り扱いについて>

- 当調査は、デマンドタクシー利用登録者から無作為抽出した 800 人に送付させていただきます。
- 調査票は無記名でご回答いただくため、個人が特定されるものではありません。

<アンケートの回収について>

同封の返信用封筒にこの調査票を入れてご返送ください。(切手不要)

返送(ポスト投函)期日: **令和 4 年 11 月 7 日(日)**

<アンケートに関する問い合わせ先>

行田市地域公共交通会議 (事務局: 行田市 市民生活部 交通対策課)
電話: 048-556-1111(内線284)

行田市
デマンドタクシー利用者
アンケート調査
調査票

<アンケートの回答・記入について>

- ・回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ・設問によっては記述の回答をお願いしています。
- ・その他にあてはまる場合は、()内に具体的な内容を記入してください。
- ・記入が困難な方は、ご家族の方が代筆して構いません。
(ただし、代筆者ではなく、アンケート票の宛名の方にご回答ください)

■ あなたのことについて

問1

あなたの年齢を教えてください。
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- 1. 74 歳以下
- 2. 75～79 歳
- 3. 80～84 歳
- 4. 85～89 歳
- 5. 90 歳以上

問2

あなたの居住地をご記入ください。

居住地	※右記の〔 〕内に町工名をご記入ください 記入例：行田市〔長野1丁目〕 行田市〔 〕
-----	--

■ 日頃のデマンドタクシーの利用について

問3 あなたがデマンドタクシーの利用登録を行った理由を教えてください。
最も当てはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象年齢（75歳以上）であったため 2. 障害者手帳を所持しているため 3. 自宅前から（まで）利用できるため 4. バス停までの移動が困難なため 5. 利用料金が手頃だと感じたため 6. 家族や知人に勧められたため 7. 運転免許証を自主返納したため 8. 運転免許証はあるが自身の運転での外出に不安を感じるため 9. 市内循環バスの運賃が無料になるため 10. 行政サービスを積極的に活用したいため 11. その他（ ） |
|---|

問4 普段、デマンドタクシーを利用する際の移動パターンを教えてください。
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 行き（自宅から目的地へ）のみ利用 2. 帰り（目的地から自宅へ）のみ利用 3. 行き帰りともに利用 4. 目的地から他の目的地への移動で利用 5. 特に決めていない |
|---|

問5 デマンドタクシーを行きと帰りのどちらかだけ利用する場合、帰り[帰宅時]や行き[外出時](デマンドタクシーを利用しない時)の移動手段を教えてください。
該当する番号全てに○をつけてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 徒歩 2. 家族や知人の送迎 3. 医療機関などの送迎 4. 民間の路線バス 5. 市内循環バス 6. タクシー（デマンドタクシー以外） 7. その他（ ） |
|---|



問6 デマンドタクシーを使ってよく行く目的地(例えば、鉄道に乗り継ぐ場合は、行田市外も含めた最終的な目的地)について教えてください。

例によく行く目的地3つまでについて、回答見本を参考に以下をお答えください。

【回答見本】

具体的な目的地(記述)	○○病院
目的	★以下から1つ選択 1. 通勤・業務 ② 通院 3. 買物 4. 食事やレジャー 5. 公共施設での用事 6. 福祉施設 7. 家族や友人宅等への訪問 8. その他（ ）
行きの主な時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30～9:30 ② 9:30～11:00 3. 11:00～13:00 4. 13:00～15:00 5. 15:00～17:00 6. 特に決まっていない 7. 帰りのみデマンドタクシーを利用(他の目的地からの徒歩移動を含む)
帰りの主な時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30～9:30 2. 9:30～11:00 3. 11:00～13:00 ④ 13:00～15:00 5. 15:00～17:00 6. 特に決まっていない 7. 行きのみデマンドタクシーを利用(他の目的地への徒歩移動を含む)

【あなたが一番よく行く目的地】

具体的な目的地(記述)	
目的	★以下から1つ選択 1. 通勤・業務 2. 通院 3. 買物 4. 食事やレジャー 5. 公共施設での用事 6. 福祉施設 7. 家族や友人宅等への訪問 8. その他（ ）
行きの主な時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30～9:30 2. 9:30～11:00 3. 11:00～13:00 4. 13:00～15:00 5. 15:00～17:00 6. 特に決まっていない 7. 帰りのみデマンドタクシーを利用(他の目的地からの徒歩移動を含む)
帰りの主な時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30～9:30 2. 9:30～11:00 3. 11:00～13:00 4. 13:00～15:00 5. 15:00～17:00 6. 特に決まっていない 7. 行きのみデマンドタクシーを利用(他の目的地への徒歩移動を含む)

【あなたが2番目によく行く目的地】

具体的な 目的地 (記述)	
目的	★以下から1つ選択 1. 通勤・業務 2. 通院 3. 買物 4. 食事やレジャー 5. 公共施設での用事 6. 福祉施設 7. 家族や友人宅等への訪問 8. その他()
行き の 主な 時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30~9:30 2. 9:30~11:00 3. 11:00~13:00 4. 13:00~15:00 5. 15:00~17:00 6. 特に決まっていない 7. 帰りのみデマンドタクシーを利用(他の目的地からの徒歩移動を含む)
帰りの 主な 時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30~9:30 2. 9:30~11:00 3. 11:00~13:00 4. 13:00~15:00 5. 15:00~17:00 6. 特に決まっていない 7. 行きのみデマンドタクシーを利用(他の目的地への徒歩移動を含む)

【あなたが3番目によく行く目的地】

具体的な 目的地 (記述)	
目的	★以下から1つ選択 1. 通勤・業務 2. 通院 3. 買物 4. 食事やレジャー 5. 公共施設での用事 6. 福祉施設 7. 家族や友人宅等への訪問 8. その他()
行き の 主な 時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30~9:30 2. 9:30~11:00 3. 11:00~13:00 4. 13:00~15:00 5. 15:00~17:00 6. 特に決まっていない 7. 帰りのみデマンドタクシーを利用(他の目的地からの徒歩移動を含む)
帰りの 主な 時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30~9:30 2. 9:30~11:00 3. 11:00~13:00 4. 13:00~15:00 5. 15:00~17:00 6. 特に決まっていない 7. 行きのみデマンドタクシーを利用(他の目的地への徒歩移動を含む)

問7 デマンドタクシーの利用頻度を教えてください。
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. ほぼ毎日 2. 週3~5日 3. 週1~2日 4. 月数回程度
5. 月1日程度 6. 年数回程度 7. ほとんど利用しない

問8 コロナ禍以降(2020年以降)のデマンドタクシーの利用頻度の変化を教えてください。
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※コロナ禍以降(2020年以降)に利用登録をされた方は、選択肢6を選択してください。

1. コロナ禍前よりかなり増えた 2. コロナ禍前よりやや増えた
3. 変わらない 4. コロナ禍前よりやや減った
5. コロナ禍前よりかなり減った 6. コロナ禍以降に利用登録を行った

問9 問8で回答したコロナ禍以降(2020年以降)のデマンドタクシーの利用頻度の変化の理由を教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※コロナ禍以降に利用登録をされた方は、コロナ禍のデマンドタクシー利用で感じる点を選択してください。

1. 外出自粛を心掛けているため
2. デマンドタクシーの感染対策が気になるため
3. コロナ禍であっても変わらず利用したいと感じるため
4. コロナ禍であっても通院等の外出せざるを得ない用事があるため
5. 自衛だけでは外出が困難なので利用せざるを得ないため
6. デマンドタクシーの感染対策が十分だと感じるため
7. 不特定多数の利用者と密にならず安心して移動手段だと感じるため
8. 自宅から利用しやすいなどサービス内容や利用料金に魅力を感じるため
9. その他()

問10 日頃のデマンドタクシーの利用満足度を教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 満足 2. どちらかという満足 3. どちらとも言えない
4. どちらかという不満 5. 不満
★4と5を選択した方は、その理由を教えてください

■ 日頃の外出と公共交通の利用について

問11 デマンドタクシーの利用に限らず、下記のどの施設に行くのが便利だとあなたが書かすやすいと思いますか。
該当する番号を3つまで選んで、○をつけてください。

1. 商業施設 (大型複合店、スーパー、ホームセンター等)
2. 商業施設 (コンビニエンスストア、ドラッグストア等)
3. 商業施設 (飲食店、衣料品店等)
4. 金融施設 (銀行、信用金庫、郵便局等)
5. 行政施設 (市役所、支所、窓口機能等)
6. 文化教育施設 (図書館、文化会館、美術館等)
7. 医療施設 (病院、診療所、薬局等)
8. 福祉施設 (障がい者福祉施設等)
9. 高齢者向け施設 (介護施設等)
10. 子育て支援施設 (子育て支援センター、こども園、保育所等)
11. 学校施設 (高等学校、大学、専門学校等)
12. 健康推進等施設 (スポーツ施設、体育館等)
13. ほとんど外出しないため該当なし
14. その他 ()

問12 デマンドタクシー以外で、月1回以上利用する交通手段を教えてください。
該当する番号全てに○をつけてください。

1. 鉄道
2. 民間の路線バス
3. 市内循環バス
4. タクシー (デマンドタクシー以外)
5. ほとんど利用しないため該当なし
6. その他 ()

問13 公共交通を利用する際に重視することを教えてください。
下記の選択肢から優先順位の高い順に3つまで数字をご記入ください。

1. 運賃が安いこと
 2. 便数が多いこと
 3. 乗り継ぎ回数が少ないこと
 4. 目的地まで早く着けること
 5. 到着時刻の確実性が高いこと
 6. 自宅近くから利用できること
 7. できるだけ目的地まで歩かないで済むこと
- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1番目に重視すること | 2番目に重視すること | 3番目に重視すること |
| | | |

問14 デマンドタクシー以外の行田市内の公共交通の利用満足度を教えてください。
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 満足
 2. どちらかという満足
 3. どちらとも言えない
 4. どちらかという不満
 5. 不満
 6. デマンドタクシーしか利用しないのでわからない
- ★4と5の方は、その理由を教えてください

■ 自由意見

デマンドタクシーの運行内容や行田市の公共交通などについて、ご意見・ご要望等がございましたら、自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございます。
期限内(11月7日まで)にポスト投函をお願いします。

巻末－4 路線バス利用者アンケート実施概要

●実施日

令和4年11月8日（火）（平日1日で実施）

※7:00～19:00の概ね12時間

●対象者と調査方法

調査員の声かけにより、これから路線バスを利用する乗客（行田市民以外も対象とし、年齢は目視により高校生以上）であることを確認したうえで、調査票を配布。回答者および調査員のヒアリングによる記入、もしくは調査票内に記載のQRコードの読み取りによるWEB回答で回答を得た。

●回収票数

202票

●調査地点バス停

①吹上駅 ②長野一丁目 ③忍城 ④南河原支所 ⑤産業道路 ⑥行田市駅

● 調査票

【調査票記入欄】

調査日 _____ 調査時間 _____

調査地点：(該当する調査地点番号に○を記入)

- ① 吹上駅 ② 長野一丁目 ③ 忍城
④ 南河原支所 ⑤ 産鼻道路 ⑥ 行田市駅

行田市 路線バス利用に関するアンケート調査

下記のQRコードを読み取って
回答することもできます。



問1 あなたの年齢を教えてください。

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳代以上

問2 あなたのお住まいを教えてください。

1. 行田市 2. 熊谷市 3. 鴻巣市 4. その他埼玉県内 5. 埼玉県外

問3 本日の主な外出目的を教えてください。(一つに○)

1. 通勤 2. 通学 3. 病院・薬局等 4. 買い物・食事 5. 趣味・娯楽・観光
6. 知人・家族等と会う 7. 金融機関等での用事 8. 福祉施設等での用事
9. 公共施設での用事 10. その他()

問4 本日线路バスを利用する主な理由を教えてください。(一つに○)

1. 自宅の近くにバス停があるから 2. 目的地までの移動が一番スムーズだから
3. バス以外に主な移動手段が無いから 4. その他()

問5 本日の外出で路線バスに乗る前・降りた後の移動手段を教えてください。(複数選択可)

1. 自家用車 2. 知人・家族等の送迎 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩
6. 鉄道 7. その他の公共交通()

問6 普段の路線バスの利用頻度を教えてください。(一つに○)

1. ほぼ毎日 2. 週2~3日 3. 週1日 4. 月数回 5. 年数回

問7 普段の路線バスの利用満足度を教えてください。(それぞれ一つに○)

- | | | | | | |
|-------------|----|------|---------|------|----|
| 【7-1 運行本数】 | 満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 不満 |
| 【7-2 運行時間帯】 | 満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 不満 |

問8 この後降車するバス停および本日の外出の最終目的地を教えてください。

- | | |
|-----------------------|---|
| 【8-1 この後降車するバス停名】(記述) | 【8-2 最終目的地】(一つに○) |
| _____ 停留所 | 1. 行田市内 2. 熊谷市 3. 鴻巣市
4. その他埼玉県内 5. 東京方面 6. 群馬方面 |

問9 路線バスを使いやすくするための取組として効果的と思うものを教えてください。(三つまで○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 路線やバス停位置の見直し | 2. 時刻表とおりの運行 |
| 3. 運行本数の増便 | 4. バス停や時刻表の分かりやすい情報案内 |
| 5. ダイヤの見直し(鉄道との接続の改善等) | 6. 市内循環バスとの乗り継ぎ割引 |
| 7. バス待ち環境の改善(屋根のあるバス停等) | 8. 運賃の負担軽減 |
| 9. 目的地までの所要時間の短縮 | 10. その他 [_____] |

以上です。ご協力ありがとうございました。

巻末－5 市内循環バス利用者アンケート実施概要

●実施日

【休日調査】令和4年11月5日（土）／【平日調査】11月8日（火）（2日間実施）

※両日とも7:00～19:00の概ね12時間

●対象者と調査方法

調査員の声かけにより、これから市内循環バスを利用する乗客（行田市民以外も対象とし、年齢は目視により高校生以上）であることを確認したうえで、調査票を配布。回答者および調査員のヒアリングによる記入、もしくは調査票内に記載のQRコードの読み取りによるWEB回答で回答を得た。

●回収票数

【休日調査】89票／【平日調査】117票

●調査地点バス停

①JR 行田駅前 ②行田市駅前 ③忍城バスターミナル ④行田病院前 ⑤総合福祉会館

●調査票

【調査員記入欄】

調査日 平日・休日 調査時間

乗車路線（東 北東 北西 西 南大連 観光）

調査地点：（該当する調査地点番号に○を記入）

- ① JR行田駅前 ② 行田市駅前
③ 忍城バスターミナル ④ 行田病院前 ⑤ 総合福祉会館

下記のQRコードを読み取って
回答することもできます。



行田市 市内循環バス利用に関するアンケート調査

問1 あなたの年齢を教えてください。（一つに○）

- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳代以上 |

問2 あなたのお住まいを教えてください。（一つに○）

- | | | | | |
|--------|--------|--------|------------|---------|
| 1. 行田市 | 2. 熊谷市 | 3. 鴻巣市 | 4. その他埼玉県内 | 5. 埼玉県外 |
|--------|--------|--------|------------|---------|

問3 本日の主な外出目的を教えてください。（一つに○）

- | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|-----------|-------------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 病院・薬局等 | 4. 買い物・食事 | 5. 趣味・娯楽・観光 |
| 6. 知人・家族等と会う | 7. 金融機関等での用事 | 8. 福祉施設等での用事 | | |
| 9. 公共施設での用事 | 10. その他（ | | | |

問4 本日内市循環バスを利用する主な理由を教えてください。（一つに○）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 自宅の近くにバス停があるから | 2. 目的地までの移動が一番スムーズだから |
| 3. バス以外に主な移動手段が無いから | 4. その他（ |

問5 本日の外出で市内循環バスに乗る前・降りた後の移動手段を教えてください。（複数選択可）

- | | | | | |
|---------|--------------|--------|--------|-------|
| 1. 自家用車 | 2. 知人・家族等の送迎 | 3. バイク | 4. 自転車 | 5. 徒歩 |
| 6. 鉄道 | 7. その他の公共交通（ | | | |

問6 普段の市内循環バスの利用頻度を教えてください。（一つに○）

- | | | | | |
|---------|----------|--------|--------|--------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週2～3日 | 3. 週1日 | 4. 月数回 | 5. 年数回 |
|---------|----------|--------|--------|--------|

問7 普段の市内循環バスの利用満足度を教えてください。（それぞれ一つに○）

- | | | | | | |
|-------------|----|------|---------|------|----|
| 【7-1 運行本数】 | 満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 不満 |
| 【7-2 運行時間帯】 | 満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 不満 |

問8 この後降車するバス停および本日の外出の最終目的地を教えてください。

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 【8-1 この後降車するバス停名】（記述） | 【8-2 最終目的地】（一つに○） |
| _____ 停留所 | 1. 行田市内 2. 熊谷市 3. 鴻巣市 |
| | 4. その他埼玉県内 5. 東京方面 6. 群馬方面 |

問9 市内循環バスを使いやすくするための取組として効果的と思うものを教えてください。（三つまで○）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 路線やバス停位置の見直し | 2. 時刻表どおりの運行 |
| 3. 運行本数の増便や運行時間帯の拡大 | 4. バス運行情報等の電子化 |
| 5. ダイヤの見直し（鉄道との接続の改善等） | 6. 定期券やICカードの導入 |
| 7. バス待ち環境の改善（屋根のあるバス停等） | 8. 事前予約制バス（オンデマンドバス）の導入 |
| 9. 目的地までの所要時間の短縮 | 10. その他 [] |

以上です。ご協力ありがとうございました。

巻末－6 地域公共交通に関する意見交換会概要

●目的

地域の生活スタイルや移動ニーズに合った公共交通のあり方を検討するために、市民の方々の意見やアイデアを把握し、計画への反映を検討することを目的に実施した。

●対象

市内在住・在勤・在学の16歳以上の方

●参加募集

市広報やSNSなどを用いて、参加者を公募するほか、地区状況（特に高齢者）をよく知る民生委員にも参加依頼した。

地域公共交通に関する意見交換会を開催します

本市にとって望ましい地域公共交通のあり方や維持確保を図ることを目的とした行田市地域公共交通計画を策定することに伴い、皆さんの声を計画に反映させるため、意見交換会を開催しますので、ぜひご参加ください。

▶日時 2月4日(土)午後1時30分～4時30分

▶場所 産業文化会館2階第2会議室

▶内容

・公共交通の現状と各種アンケート結果の説明
・公共交通の課題の整理や将来像などについてグループに分かれて意見交換

▶対象 市内在住・在勤・在学の16歳以上の方

▶定員 15人

▶申し込み 1月4日(木)～26日(水)に行田市電子申請システムまたは電話で交通対策課へお申し込みください。

※電話の場合、住所・氏名・年齢・電話番号を、市外の方は加えて勤務先・通学先をお申し出ください。

▶問い合わせ 同課地域公共交通グループ(内線284)

市報ぎょうだ 2023.1

●開催日時と会場

日時：令和5年2月4日（土）13：30～16：30

場所：産業文化会館 2階 第2会議室

●全体プログラム

1. 開会	
2. 開催趣旨	・ 目的と本日の進め方
【Phase 1】『現状を知る』 <全体>	
3. 行田市の公共交通の概要について	・ 行田市の公共交通の現状、 ・ 市民アンケート調査等の結果
【Phase 2】『課題を考える』 <グループワーク>	
4. 意見交換①	・ 意見交換の進め方 ・ グループに分かれて課題の共有
【Phase 3】『解決方法を考え、将来につなげる』 <グループワーク>	
4. 意見交換②	・ 課題解決、将来の公共交通のあり方に関する意見交換
5. グループごとの発表	
6. 閉会	

●参加状況

総参加者	内訳				
	年齢		地域		所属
12名 (3グループ)	10代:3名 40代:1名 70代:5名	30代:1名 60代:2名	北部:6名 西:2名	中央:3名 東:1名	公募:7名 民生委員:5名

■当日のグループワークの様子

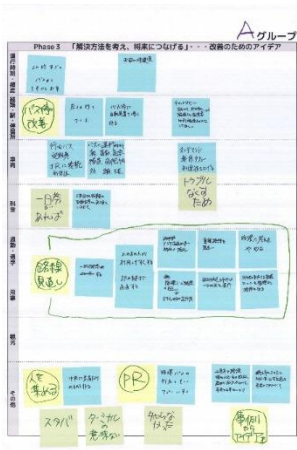
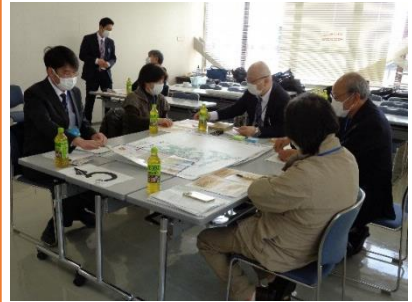
A



B



C



巻末－7 市民説明会実施概要

●目的

行田市立地適正化計画（案）及び行田市地域公共交通計画（案）について、市民の皆様にも両計画の理解を深めていただくとともに、ご意見を伺うことを目的として市民説明会を開催した。

●対象

市内在住・在勤の方

●参加募集

市広報などを用いて、開催を周知した。（立地適正化計画と同時開催）

行田市立地適正化計画（案）および行田市地域公共交通計画（案）に関する市民説明会を開催します

市では、今後想定される人口減少および高齢化社会に対応した「集約・連携型のまちづくり」を実現するため、行田市立地適正化計画および行田市地域公共交通計画を策定しています。

このたび、市民の皆さんに両計画の理解を深めていただくとともに、意見をいただくために市民説明会を開催します。ぜひご参加ください。

▶日時 11月19日(日)午前10時～11時30分(午前9時30分から受け付け)

▶場所 中央公民館第1学習室
▶内容 行田市立地適正化計画（案）および行田市地域公共交通計画（案）の概要説明
▶対象 市内在住・在勤の方
▶定員 50人(先着順) ※申し込み不要
▶問い合わせ 行田市立地適正化計画（案）については都市計画課計画グループ(内線5605)
行田市地域公共交通計画（案）については交通対策課地域公共交通グループ(内線284)

市報ぎょうだ 2023.11

●開催方法・資料

右記の素案及び計画概要を記載した抜粋資料等を活用しながら対面形式での説明会を実施した。

資料1：立地適正化計画と地域公共交通計画について
資料2：行田市立地適正化計画（案）の主な内容
資料3：行田市立地適正化計画（案）
資料4：行田市地域公共交通計画（案）の主な内容
資料5：行田市地域公共交通計画（案）

●開催日時と会場

日時：令和5年11月19日（日）10：00～12：00

会場：行田市中央公民館 第1学習室

●参加者

23人

●開催の様子



巻末－8 パブリックコメント実施概要

●目的

行田市市民意見募集手続要綱に基づき、計画（案）について、市民等からの意見を募集した。

●実施案内

市広報などを用いて、実施を周知した。

●意見募集・閲覧期間

期間：令和5年11月20日（月）～12月18日（月）

●閲覧場所

交通対策課、市政情報コーナー、南河原支所、市HP

●提出方法

持参、郵送、FAX、Eメール、行田市電子申請・届出サービス

●意見提出の状況

6人

行田市地域公共交通計画(案)に対する 意見を募集します

市では、地域の公共交通の現状や課題などを踏まえ、今後の行田市の公共交通ネットワークのあり方を描く「行田市地域公共交通計画」の策定を進めています。

このたび、計画案がまとまりましたので、市民の皆さんからの意見を募集します。

▶意見募集・閲覧期間 11月20日(月)～12月18日(月)

▶閲覧場所 交通対策課、市政情報コーナー、南河原支所、市ホームページ

▶意見の提出が可能な方 次のいずれかに該当する方

- ・市内在住、在勤、在学の方
- ・市内で事業を行っている方または団体など
- ・本市に対して納税義務を有する方または団体など
- ・その他、当該計画に対して利害関係を有する方または団体など

▶提出方法 住所、氏名、電話番号を明記(様式自由)の上、持参、郵送、FAX、Eメール、行田市電子申請・届出サービスのいずれかの方法により提出してください。

【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市交通対策課

【FAX】556-2117

【Eメール】koutsu@city.gyoda.lg.jp

【行田市電子申請・届出サービス】https://apply.e-tumo.jp/city-gyoda-saitama-u/offer/offerList_detail?tempString=chiikikoukyoukoutsuukeikakupubliccomment

▶その他

- ・電話や口頭での受け付けは行いません。
- ・個別での回答は行いません。
- ・個人を特定できないように編集し、概要を市ホームページで公表します。
- ・意見に基づいて計画を修正した場合は、その内容を公表します。



▶問い合わせ 同課地域公共交通グループ(内線284)

市報ぎょうだ 2023.11

巻末－9 用語集

新たなモビリティサービス	新型輸送サービス（シェアサイクル、カーシェア、AI オンデマンド交通、超小型モビリティ、グリーンスローモビリティ、自動運転による交通サービス等）や MaaS の導入など、新たな交通サービスの取組のこと。国では、「新モビリティサービス推進事業」として、これらの取組に対する支援を行っている。
AI オンデマンド交通	オンデマンドとは「要求に応じて」という意味で、乗客から事前に連絡（予約）を受けて、AI（人工知能）を活用し、効率的な乗り合わせと走行ルートを判断し、ドア・ツー・ドアで運行するなど、乗客の要求に応じて運行する運行形態をいう。
カーシェアリング	シェアリングの登録をした会員の間で、特定の自動車の貸し借りをすること。レンタカーと比較して、短時間、短距離でも低コストで利用できる。
改善基準告示	「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」（厚生労働大臣告示）のことを言い、自動車運転者の長時間労働を防ぐことは、労働者自身の健康確保のみならず、国民の安全確保の観点からも重要であることから、トラック、バス、ハイヤー・タクシー等の自動車運転者について、労働時間等の労働条件の向上を図るため拘束時間の上限、休息期間について基準等が設けられている。
キャッシュレス決済	現金を使用せずに、IC カードやスマートフォンのアプリケーションなどで決済を行うこと。鉄道やバスなどの利用時に、現金で切符を購入せずに決済を行うことができる。
グリーンスローモビリティ	時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称のこと。導入により、地域が抱える様々な交通の課題の解決や低炭素型交通の確立が期待される。
公共交通徒歩圏	鉄道駅やバス停等の公共交通が利用できる場所から徒歩で移動することができる範囲のこと。「都市構造の評価に関するハンドブック」（国土交通省都市局都市計画課、平成 26 年 8 月）では、一般的な徒歩圏を半径 800m（高齢者の場合は 500m）、バス停は 300m としている。
交通結節点	複数又は異なる交通手段相互の乗り換え、乗り継ぎを行うことができる鉄道駅やバスターミナルなどの施設のこと。
交通手段分担率	ある交通手段のトリップ数の全交通手段のトリップ数に占める割合のこと。なお、分担率の増加と交通量の増加は必ずしも同義ではない。
交通モード	交通手段のこと。
コンパクト・プラス・ネットワーク	生活に必要な機能や居住を拠点に集約させ、拠点間を公共交通で結ぶ考え方。
サイクル・アンド・バスライド	自転車でバス停等まで来てバスに乗り換える手法。
サブスクリプション	一定の利用期間について定額料金が生じる取引・契約形態のこと。新聞の定期購読といった従来からあるサービスから、動画配信サービスなど、インターネットの発達により始まった比較的新しいサービスまで様々ある。
GX（Green Transformation）	化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動のこと。

シェアサイクル	都市内に設置された複数のサイクルポートを相互に利用できる利便性の高い交通システムのこと。公共交通の機能を補完し、観光振興や地域の活性化等に資するなど、公共的な交通として重要な役割を担っている。
市街化区域	既に市街地を形成している区域及びおおむね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。
市街化調整区域	市街化を抑制すべき区域。
自動運転技術	バスや乗用車などを人間が運転操作を行わなくとも自動で走行できる技術のこと。完全な自動運転バスは、カメラやレーダー、超音波センサー、GPS 等で周囲の環境を認識し、行き先を指定するだけで自律的に走行する。自動化のレベルとして、ドライバーが常にすべての主制御系統（加速、操舵、制動）の操作を行う「レベル 0」から、完全な自動運転となる「レベル 5」まで定義されている。
DX (Digital Transformation)	デジタル技術の活用による新たな商品・サービスの提供、新たなビジネスモデルの開発を通して、社会制度や組織文化なども変革していくような取組を指す概念のこと。
集中交通量	対象地域へ集中するトリップを合計した値。
ドア・ツー・ドア	ドア（自宅）からドア（目的地）へと直接にアクセスできること。
トリップ	人がある目的をもって、ある地点からある地点へと移動する単位のこと。1 回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても 1 トリップと数える。
パークアンドライド	都心部等での道路交通混雑を避けるために、都市の郊外部において自動車を駐車し、鉄道・バス等の公共交通機関へ乗り換える手法。
パーソントリップ調査	「どのような人が」「どのような目的で」「どこからどこへ」「どのような交通手段で」移動したかなどを調べるもので、鉄道や自動車、徒歩といった各交通手段の利用割合や交通量などを求めることができる。
バスロケーションシステム	GPS 等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコンに情報提供するシステムのこと。これにより、渋滞や雨などの理由によりバスが遅れているときのバス待ちのイライラ等を解消できる。
発生交通量	対象地域から発生するトリップを合計した値。
MaaS (マース Mobility as a Service)	目的と一体的にマイカー以外の様々な種類の交通サービスをデジタル技術で円滑につなげることで、1 つのサービス (as a Service) として統合する新たな「移動」の概念。
モーダルシフト	自家用車利用からより環境負荷の低い公共交通や自転車、徒歩などの自動車以外の利用への転換を図ること。
モビリティ・マネジメント	「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に (= かしく) 利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取組のことで、自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策のこと。
ユニバーサルデザイン	あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方のこと。
レンタサイクル	定期利用や、当日利用ができる貸し自転車のこと。1 台の自転車を複数の人が使うことにより、自転車の有効利用が図れるとともに、駅周辺における放置自転車の抑制、地域振興、環境改善などを主な目的として実施されている。シェアサイクルとの違いは返却場所で、シェアサイクルは複数あるサイクルポートへ、レンタサイクルは自転車を借りた場所へ返却する。